

丸の内の「まちづくり」の変遷

いっちょうろんどん
～一丁倫敦から東京駅前再開発まで～



復元された三菱一号館

日本初のオフィス街である丸の内。新しい景観はどのように創られ、時代と共にどう変化してきたのでしょうか。明治期に始まり、関東大震災、戦後復興、高度成長期を経て、阪神淡路大震災後の耐震化、建て替え、復元、賑わい創出など、まちづくりの最前線までを語ります。

2002年に全面改装し話題を呼んだ丸ビルをはじめ、このエリアの開発に第一線で携わってこられた建築家の東條隆郎氏を講師にお迎えしてお話いただきます。

講師 東條 隆郎（とうじょう たかお）

株式会社三菱地所設計 副社長。1950年北海道生まれ、1973年に北海道大学建築工学科を卒業し、三菱地所株式会社入社。2001年より株式会社三菱地所設計。手がけた作品は、丸の内ビルディング、パレスホテル、丸の内仲通り、有楽町イトシア、広尾ガーデンヒルズなど。



東條隆郎氏

開催概要

- 日時：2016年2月1日（月）19:00～20:45（18:30～受付）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（申込順）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
 - ① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。